



公益社団法人
日本眼科医会
JAPAN OPHTHALMOLOGISTS ASSOCIATION



国民の目を守る。

私たちは、最新の眼科医学と国民をつなぎ、
人生100年時代の健やかな人生を守ります。

ご挨拶

日本眼科医会（以下、本会）は、1930年に臨床科医会第一号として設立され、国民の目を守る事業を積み重ねて参りました。

日本人の平均寿命は男性81.09歳、女性87.14歳となり^{※1}、人生100年時代を迎えています。人が得る情報の80%は目から入るとされており、見えにくくなると趣味やスポーツの継続が難しくなったり、転倒してけがをするリスクが高くなります。自分らしく健やかに人生を送るためには^{※2}、良い視力を保つことはとても大切です。視覚障害を負うことによる社会的損失は年間約8兆8000億円とされており^{※3}、視力低下がいかに生活を制限してしまうかということを物語っています。

目の健康を維持するためには年代に応じて留意すべきポイントがあります。視力が発達する乳幼児期、近視が進行する学童期、コンタクトレンズによる眼障害が増える青年期、緑内障や糖尿病網膜症などが進行し始める壮年期、視神経・網膜が衰える高年期において、疾患を予防し早期発見する知識をもっておくことが重要です。節目ごとに目の検診を受けたり、目の不調を感じたときには「年のせい」と軽く考えず、眼科専門医で診断を受けることも大切です。本会では、2021年から、加齢に伴い目の組織が衰えるという意味の「アイフレイル」という言葉を用いて、早期に病気への対策を講じていただけるよう、わかりやすい啓発活動を推進しています^{※4}。また、医療の力が及ばず視力が低下してしまった方々には、自立した生活を営むために必要な支援を提供し、視覚障害があっても社会で活躍できるような環境の整備に力を注いでいます^{※5}。

本会は、約15000名の眼科医で構成され、日本眼科学会・全国都道府県眼科医会・眼科関連団体^{※6}と連携し、眼科医療の安定的発展を目指して学術的研究と公衆衛生活動を推進しています。さらに、全ての眼科医療者が個々の特長を活かして医療の発展に貢献できる環境作りのために、各地の眼科組織にダイバーシティの浸透も進めています。

少子高齢化社会における持続可能な医療の未来を見据え、各省庁^{※7}と連携して、国民の皆さまのQuality of Lifeの向上に寄与すべく、幅広い医療活動を実践してまいります。



会長 白根 雅子

※1 令和5年簡易生命表の概況 厚生労働省

※2 参考:厚生労働省 健康21(第三次) https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kenkouinippon21_00006.html

※3 日本における視覚障害の社会的コスト 日本眼科医会研究班報告2006-2008. 日本の眼科 80巻6号 付録

※4 日本眼科啓発会議 アイフレイル啓発公式サイト <https://www.eye-frail.jp>

※5 日本眼科医会 ロービジョンケアサイト <https://low-vision.jp>

※6 日本視能訓練士協会、日本眼科用剤協会、日本眼科医療機器協会、日本コンタクトレンズ協会、日本メガネ協会

※7 厚生労働省 子ども家庭庁 消費者庁 文部科学省 国土交通省 総務省等



私たちの使命。

理想の眼科医療を追い求めて、11の事業を掲げます。

日本眼科医会設立の目的・事業

都道府県眼科医会との連携のもと、広く国民に対し正しい眼科医療の啓発及び教育活動を行うとともに、眼科学及び眼科医療に関する調査研究、公衆衛生活動、会員の倫理の高揚及び資質の向上を図り、もって国民の保健・福祉の向上に寄与することを目的とする。

日本眼科医会の事業

- ① 正しい眼科医療の啓発及び教育活動に関する事業
- ② 学術研究及び調査に関する事業
- ③ 地域医療の発達向上と普及に関する事業
- ④ 会員の資質の向上に関する事業
- ⑤ 失明予防事業への協力に関する事業
- ⑥ 視覚障害者対策事業への協力に関する事業
- ⑦ 医学、医療の国際交流に関する事業
- ⑧ 会誌、会報その他印刷物の発行に関する事業
- ⑨ 眼科保険診療の適正化に関する事業
- ⑩ 会員の相互扶助に関する事業
- ⑪ その他本会の目的を達成するために必要な事業



ビジョンバン小冊子



ビジョンバン

本会では、東日本大震災を契機に作製された眼科医療支援車両「ビジョンバン」を所有しています。これまでも2013年フィリピン・レイテ島の台風被災地や2018年岡山県、2019年宮城県の豪雨災害被災地に「ビジョンバン」を派遣し、被災地眼科医療支援を行いました。

令和6年能登半島地震では、同年1月3日に災害対策本部を立ち上げ、1月14日にはJMATの一員として眼科ニーズの調査を行い、1月20日、21日に1.5次避難所へ「ビジョンバン」を派遣し計82人の診察を行いました。

日本眼科医会のアドボカシー活動

眼科医療にかかわるアドボカシー活動* (国民への啓発と政策提言)を通して生涯にわたる眼の健康維持に努めます。

乳幼児期

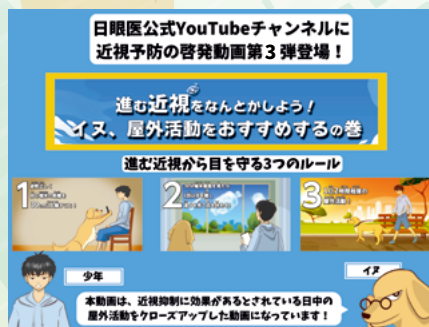
3歳児健診での弱視見逃し防止のため、自治体が屈折検査機器を導入する際の補助金制度を実現しました。私たちは小さな目の健やかな成長を守ります。



私たち
情報

学童期

増加する学童近視への対策は急務です。文部科学省が公表した近視実態調査でも、近見作業の制限や屋外で過ごす時間をふやすことが近視抑制に有効とされています。児童向け生活スタイルや知識を漫画や動画を駆使して啓発します。



青年期

コンタクトレンズによる眼障害を減らすよう厚生労働省や消費者庁と連携して対策を講じます。啓発動画を製作し、正しく安全に使用してもらうよう注意を呼びかけます。

*アドボカシー (advocacy) 活動とは、公益的な視点で社会のシステム構築や制度の変革を促すための活動です。

提言・実行する組織を目指して

国民の信頼と眼科医療の向上を念頭に、
各担当は目標を掲げて活動しています。

組織と活動内容・タスク

- 総務管理** 渉外活動、諸規定の整備、会議の運営
- 総務企画** 国際協力事業の推進、失明予防事業への協力、眼科医事紛争対策
- 経理** 経理の合理的運用
- 公衆衛生** 眼科検診事業の推進、眼科公衆衛生知識の啓発、視覚障害者対策、老人医療対策、災害医療対策
- 広報** 会内外への情報提供活動、機関誌「日本の眼科」の発行、日本眼科医会ホームページの運営管理
- 乳幼児・学校保健** 乳児・児童生徒の健康管理と保健教育の充実
- 学術** 生涯教育活動、日本眼科学会総集会プログラム委員会への参画、眼科専門医制度の推進、眼科医療従事者教育
- 社会保険** 適正な眼科保険診療の推進と会員への情報提供
- 医療対策** 眼科医療問題への対策、眼科診療体制への対策、眼科関連団体との協議
- 勤務医・ダイバーシティ** 他施設との連携強化による最善の医療を提供、勤務医会員の抱える諸問題への対策、ダイバーシティの推進

主要委員会
選挙管理委員会
倫理委員会
助成事業選考委員会
公衆衛生委員会
災害対策委員会
「日本の眼科」編集委員会
日本眼科広報委員会
広報ワーキンググループ
学校保健委員会
子どもの目の健康対策委員会
学術委員会
社会保険委員会
医療対策委員会
勤務医委員会
ダイバーシティ推進委員会
眼科専門医制度委員会

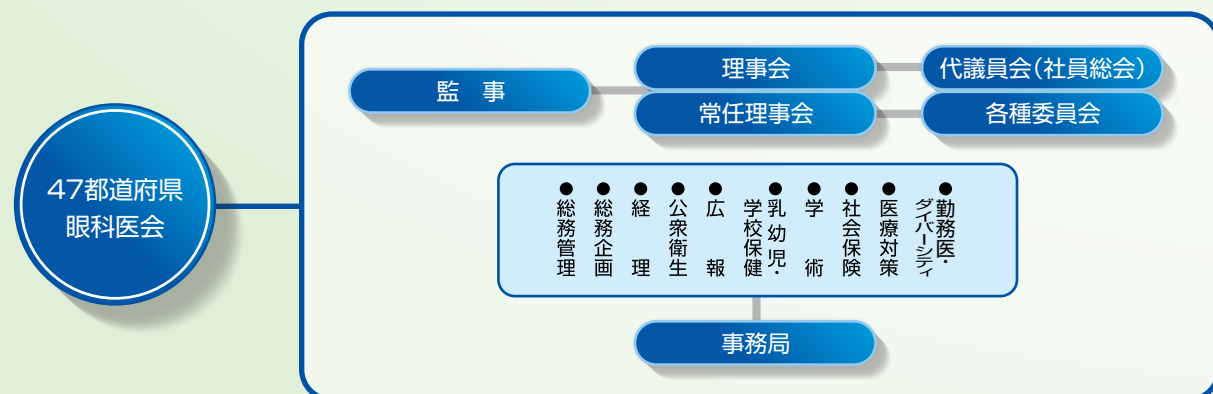


役員会議



本会はダイバーシティを推進しています。クォータ制など女性の積極登用やオンラインによる地方眼科医の参加など、多様な価値観のもと役員・委員が活動しています。

会の組織図



47都道府県
眼科医会

監事

理事会

代議員会(社員総会)

常任理事会

各種委員会

- 総務管理
- 総務企画
- 経理
- 公衆衛生
- 広報
- 乳幼児・学校保健
- 学術
- 社会保険
- 医療対策
- 勤務医・ダイバーシティ

事務局

あゆみ

90余年の歴史をなぞる。

世界の出来事

日本眼科医会のあゆみ

	昭和5年	日本眼科医師会を創立した
	昭和14年	9月18日を「眼の記念日」(後の10月10日の「目の愛護デー」と制定した
満州事変	昭和6年	
太平洋戦争終戦	昭和20年	
東京五輪	昭和39年	昭和41年 本会の機関誌「日本眼科医会会報」を「日本の眼科」と改称し、月刊とした
札幌五輪	昭和47年	
オイルショック	昭和48年	
	昭和59年	第1回「記者発表会(現「日本眼科記者懇談会」)」を開催した
	昭和60年	患者用パンフレット「目と健康シリーズ」の制作を開始した
チェルノブイリ原発事故	昭和61年	
ベルリンの壁崩壊	平成元年	
阪神淡路大震災	平成7年	
長野五輪	平成10年	
アメリカ同時多発テロ	平成13年	平成20年 日本眼科学会との協同事業として「日本眼科啓発会議」を立ち上げ、活動を開始した
	平成21年	「日本における視覚障害の社会的コスト」発表
東日本大震災	平成23年	平成24年 公益社団法人に移行した
	平成29年	「成人を対象とした眼検診」研究班業績集発表
	平成30年	関連諸団体と連携し、 日本眼科災害対策会議を立ち上げた
	令和元年	ロービジョンケアサイトを立ち上げた
新型コロナウイルス感染症の蔓延	令和2年	令和2年 YouTubeに啓発動画をアップロードした Webを活用した会務の変革
東京五輪2回目	令和3年 7月	令和3年 アイフレイル対策活動
ロシアによるウクライナ侵攻	令和4年 2月	令和4年 アドボカシー活動の推進 ACジャパンによる公共広告
イスラエル・パレスチナ紛争	令和5年 10月	令和5年 こどもの目の日登録
能登半島地震	令和6年 1月	



こどもの目の日登録

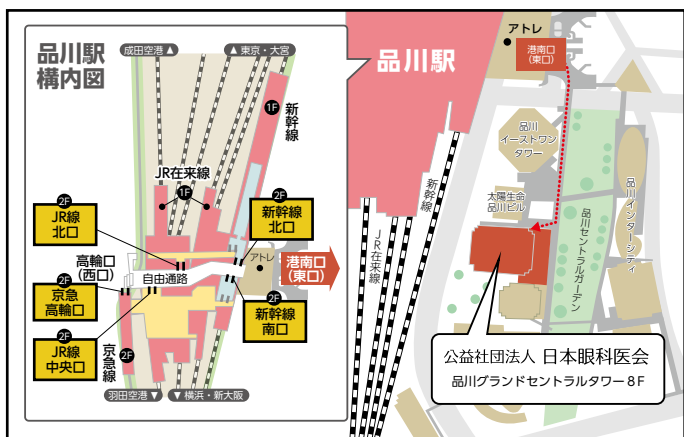


詳しくは
ホームページを
ご覧ください。




好奇心が強く、目の健康について
アピールすることが大好き

日本眼科医会 公式マスコットキャラクター「めめペン」

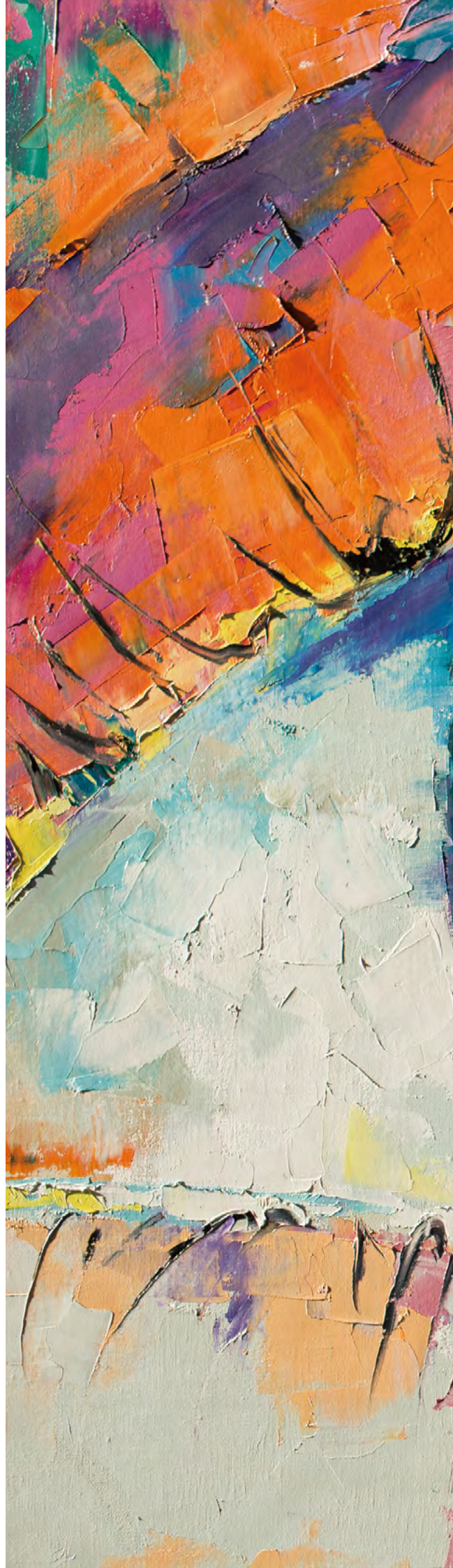


■最寄駅:

品川駅(港南口) 徒歩3分
京浜急行線 北品川駅 徒歩10分

 公益社団法人 日本眼科医会

〒108-0075
東京都港区港南二丁目16番4号
品川グランドセントラルタワー8階
電話:03-6810-3640(代表)
FAX:03-6810-3645
<https://www.gankaikai.or.jp/>



日本眼科医会へのご入会について

ご入会のお勧め

特典

- ① 会誌「日本の眼科」が無料で送付され、最新の眼科医療全般の動きを知ることができます。
- ② 診療報酬の改定に際しては、いち早く眼科診療に関する情報をお届けします。
(診療報酬点数早見表付き)
- ③ ホームページにおける会員限定のメンバーズルームの利用が可能となり、各種の診療関連情報を得ることができます。
- ④ 眼科専門医資格更新の際、臨床証明書を受けることができます。
- ⑤ 本会が行う生涯教育講座等を会員向けの参加登録費で受講することができます。
- ⑥ 勤務医師賠償責任保険制度、各種業務保障制度を運用しているため、加入者は、事故等の場合に補償が受けられます。特に休業補償制度に係る保健加入に際しては、有利な保険割引制度があります。

会費

A会員	B会員	C会員
45,000円	15,000円	3,000円
病院もしくは 診療所の管理者 またはこれに準ずる者	A会員または C会員以外の会員で 所管眼科医会会長が 申請した者	医師臨床研修制度 開始年度から6年以内 のものであって、 所管眼科医会の会長が 申請した者

入会 方法

手続きに必要な書類は各都道府県眼科医会に用意しております。業務地の所在する各都道府県眼科医会まで直接ご請求をお願いいたします。連絡先については裏面をご覧ください。

日本眼科医会ホームページご利用について

一般向けのページでは、国民に向けた眼に関する知識や、様々な眼疾患についてわかりやすく解説しています。また日本眼科医会からの各種のお知らせやイベントなどの告知もご覧いただけます。日本眼科医会会員専用ページ(メンバーズルーム)では各担当の活動状況や各種手続きの案内があります。「日本の眼科」PDFファイルのダウンロードも可能です。



gankaikai.or.jp/



■変更・移動・異動・退会をご希望の方は主たる業務地
(業務地の変更を伴う場合には移動後)の眼科医会にご連絡ください。

都道府県眼科医会一覧

眼科医会名	郵便番号	住所	TEL	FAX
北海道眼科医会	060-0001	札幌市中央区北1条西15丁目1-3 大通ハイム611号室	011-633-3466	011-633-3467
青森県眼科医会	031-0073	八戸市売市2-12-32 松橋眼科クリニック内	0178-73-3315	0178-73-3317
岩手県眼科医会	020-0866	盛岡市本宮字小坂小瀬13-1 医療法人たかはし眼科内	019-656-3366	019-656-3388
秋田県眼科医会	010-0874	秋田市千秋久保田町6-6 秋田県医師会館内	018-833-7401	018-832-1356
宮城県眼科医会	980-8633	仙台市青葉区大手町1-5 宮城県医師会館5階	022-222-5167	022-222-5167
山形県眼科医会	990-2473	山形市松栄1-6-73 山形県医師会館内	023-666-5200	023-647-7757
福島県眼科医会	960-1295	福島市光が丘1	024-547-2205	024-547-2206
茨城県眼科医会	310-0852	水戸市笠原町489 (一財)茨城県メディカルセンター3F	029-306-9567	029-306-9567
栃木県眼科医会	322-0036	鹿沼市下田町2-1400-1 吉沢眼科院内	0289-77-5757	0289-77-5758
群馬県眼科医会	371-0022	前橋市千代田町1-7-4 群馬県医師会内	027-231-5311	027-231-7667
千葉県眼科医会	264-0004	千葉市若葉区千城台西1-4-2 ミズノヤ第一ビル302	043-308-6141	043-332-9484
埼玉県眼科医会	330-0062	さいたま市浦和区仲町3-5-1 埼玉県医師会内	048-824-2611	048-822-8515
神奈川県眼科医会	231-0037	横浜市中区富士見町3-1 神奈川県総合医療会館 神奈川県医師会内	045-241-7000	045-241-1464
山梨県眼科医会	406-0045	笛吹市石和町井戸177-1 いまい眼科内	055-287-7772	055-287-7773
長野県眼科医会	390-0852	松本市島立721-30 永田眼科院内	0263-48-5566	0263-48-5567
新潟県眼科医会	955-0852	三条市南四日町4-3-10 三条眼科内	0256-36-0077	0256-36-0080
東京都眼科医会	160-0008	新宿区四谷三栄町3-10-201	03-3353-8383	03-3353-9796
静岡県眼科医会	420-0839	静岡市葵区鷹匠3-6-3 静岡県医師会館2F	054-277-9937	054-277-9934
愛知県眼科医会	460-0008	名古屋市中区栄3-7-12 サカエ東栄ビル7F	052-262-0054	052-251-9213
岐阜県眼科医会	500-8510	岐阜市藪田南3-5-11 岐阜県医師会4F 医会合同事務センター内	058-214-8021	058-214-8038
福井県眼科医会	911-0803	勝山市旭町1-2-38 小林眼科内	0779-87-7888	0779-87-6333
石川県眼科医会	929-0211	白山市井関町115-3 うしむら眼科クリニック内	076-278-3001	076-278-3511
富山県眼科医会	939-0626	下新川郡入善町入膳7714-1 新田眼科内	0765-72-0078	0765-74-9201
三重県眼科医会	514-8538	津市桜橋2-191-4 三重県医師会館2F	059-229-4458	059-229-4598
滋賀県眼科医会	520-2145	大津市大將軍1-13-12 ののむら眼科内	077-543-5439	077-543-5435
奈良県眼科医会	634-8502	橿原市内膳町5-5-8 奈良県医師会館内	0744-22-8502	0744-23-7796
京都府眼科医会	604-8585	京都市中京区西ノ京東梅尾町6 京都府医師会館内	075-354-6105	075-354-6097
大阪府眼科医会	542-0062	大阪市中央区上本町西3-1-7 大阪府医師協同組合南館6F	06-6762-3201	06-6762-3757
和歌山県眼科医会	640-8212	和歌山市杉ノ馬場1-41-1 山中眼科内	073-431-3904	073-431-4814
兵庫県眼科医会	651-8555	神戸市中央区磯上通6-1-11 兵庫県医師会館7F	078-222-1010	078-221-3600
岡山県眼科医会	700-0024	岡山市北区駅元町19-2 岡山県医師会館内	086-250-1202	086-250-6401
広島県眼科医会	734-8551	広島市南区霞1-2-3 広仁会館内	082-256-5470	082-256-5471
山口県眼科医会	747-0035	防府市栄町2-1-1 大西眼科内	0835-28-0600	0835-28-0601
島根県眼科医会	693-0024	出雲市塩冶神前4-6-4 ますだ眼科クリニック内	0853-30-0505	0853-30-0500
鳥取県眼科医会	680-0801	鳥取市松並町1-168-14 三木眼科	0857-39-1133	0857-39-1137
徳島県眼科医会	771-0204	板野郡北島町鯛浜かや122-1 いのもと眼科内科内	088-698-8887	088-698-7110
香川県眼科医会	760-0011	高松市浜ノ町73-4 香川県医師会館内	087-823-0155	087-823-0266
愛媛県眼科医会	790-8585	松山市三番町4-5-3 愛媛県医師会内	089-943-7582	089-933-1465
高知県眼科医会	780-8514	高知市丸ノ内1-7-45 総合あんしんセンター4F 高知県医師会館内	088-824-8366	088-824-5705
福岡県眼科医会	812-0011	福岡市博多区博多駅前3-4-8-3階	092-434-4800	092-434-4801
佐賀県眼科医会	840-0054	佐賀市水ヶ江1-12-10 佐賀メディカルセンター4F 佐賀県医師会内	0952-37-1414	0952-37-1434
長崎県眼科医会	852-8532	長崎市茂里町3-27 長崎県医師会館内	095-844-1111	095-844-1110
熊本県眼科医会	862-0968	熊本市南区馬渡1-14-25 いでた平成眼科クリニック内	096-377-1148	096-377-1150
大分県眼科医会	870-0104	大分市南鶴崎2-2-24 藤山眼科内	097-522-1671	097-522-1681
宮崎県眼科医会	880-0021	宮崎市清水3-6-21 宮崎中央眼科病院内	0985-28-1015	0985-28-1015
鹿児島県眼科医会	890-0053	鹿児島市中央町8-1 鹿児島県医師会内	099-254-8124	099-254-8163
沖縄県眼科医会	901-2102	浦添市前田1-12-7 ちねん眼科内	098-875-1010	098-875-1032
日本眼科医会	108-0075	港区港南2-16-4 品川グランドセントラルタワー8F	03-6810-3640	03-6810-3645

(2024年10月1日現在)



最新の連絡先は
日本眼科医会ホームページに
掲載しております。